

なりたち

人生は出会いとタイミングだと思います。
限られた人生という時間の中で無数の人との出会いがあり、
そのほとんどが何ごともなく別れては忘れていきます。
しかし、何かしらのはずみで心の中にある風鈴が揺れて
かすかな音立てことがあります。

障害者文化芸術活動推進法が
国会で成立したのは2018年6月です。
それを見て都道府県が障害者文化芸術を進めていくための
計画や支援センターを設置していくことになりました。

日本の障害者福祉は2006年に障害者自立支援法が
施行されてから、この13年で3倍以上にも予算は増えました。
まだ不十分とはいえ、福祉サービスは以前とは比べられないほど
充実してきたと言えます。権利擁護の面でも虐待防止法や
差別解消法の施行などもあって少しづつ整備されてきました。
ただ、福祉サービスがあって権利が守られていればいいということではありません。社会に何らかの形で関わり、働くことで
役割を得たり、家族や恋人との生活で充足感を得たりするのです。
趣味や芸術を楽しみ、創作活動の中に新しい自分を見つけることも
重要なものの一つです。

社会の価値観も大きく変わろうとしています。
物質的な豊かさよりも、心の充足や安心を求める人が
多くなってきました。そうした時代の転換期に、
千葉県での障害者文化芸術を深め、
盛り上げていく母体を作ろうということになりました。
それが、「うみのもり」です。
あの日、心の中で鳴った風鈴の音に導かれるようにして、
わたしたちはここにいます。(文・野澤和弘)



サポート内容

人材育成講座の開催

障害のある人たちによる創作活動・表現活動を
支援している方やこれから施設・事業所で創作活動を
始めてみたいと考えている方、障害者の創作・表現活動に
興味のある方を対象に人材育成を目的とした講習会を
開催いたします。ワークショップ・講話・研修を通して、
障害のある人の創作活動・表現行為に関する理解を深め、
障害のある人の芸術文化について学びます。
講座の情報はWEB、SNSで随時告知しています。

相談受付

一般的な質問から、専門的な質問
「障害、アールブリュット、絵画、舞台、音楽」等、
アールブリュットに関する
多様な質問に対応致します。



相談受付フォーム

アール・ブリュットとは

アール・ブリュット(Art Brut)とはフランス語で「生(き)の芸術」という意味です。既存の美術教育の手あかが付いていない芸術作品を指します。フランスの画家ジャン・デュビュッフェ(Jean Dubuffet 1901-1985)が発案した言葉とされています。「加工されていない芸術」「伝統や流行などに左右されず、作者自身の内側から湧き上がる衝動のままに表現した芸術」など、さまざまな言葉で定義されています。

千葉アール・ブリュットセンターでは、アール・ブリュットに関する記事・作品・展示会情報などを随時公開していきます。

発表等の機会の創出

千葉県内の作者により生み出された作品が、多くの方に目に触れるような、発表の機会を設けます。うみのもり展覧会の作品公募、発表の機会の情報はWEB、SNSで随時告知しています。

ネットワークの構築

千葉県内の「活動先」と「活動している人」をつなぐ
ネットワークや、県内の芸術に取り組んでいる
事業所・広域センターとも連携します。



ネットワーク構築

情報収集、発信

全国の福祉や美術・舞台芸術団体の情報を届け、
県内の障害当事者の芸術文化活動への参画や、
活動内容の充実を図ります。
メーリングリストを作成し情報共有などもしています。



Facebook

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮2553-8
株式会社いろだま内 TEL・FAX:0475-36-7411



Instagram



X (Twitter)



Facebook

千葉アール・ブリュットセンター「うみのもり」

いつでもお気軽にお問い合わせください。



uminomori.net



E-mail



公募作品発表ページ

厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業
千葉県障害者芸術文化活動支援センターについて

千葉県では、障害のある人の芸術文化活動の振興を図るとともに、
自立と社会参加を促進する事を目的として、
千葉県障害者芸術文化活動支援センターを設置しています。